

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

南条装備工業株式会社 八千代工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸高田市八千代町佐々井1919

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業(3113)

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2. 計画の期間

本計画の期間は、平成23年度を基準年度とし、平成24年度から平成25年度までの1年間とする。

3 計画の基本的な方向

環境方針

全員参加で地球環境保全活動に取り組みます。

- ①環境に配慮した技術と商品づくりに挑戦します。
- ②限りある資源を無駄なく有効に利用します。
- ③悪さ加減を把握して改善していきます。
- ④環境に関連した法規制及びその他の要求事項を遵守します。
- ⑤みんなで理解してみんなで行動します。
- ⑥この方針は地域社会を含めての決意宣言です。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成23年度	平成23年度
二酸化炭素		7,266	7,266

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成23年度)		削減目標		目標年度 (平成24年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2	7,266	1.0	73	7,193	
非エネルギー起源CO2				0	
メタン				0	
一酸化二窒素				0	
フロン類				0	
温室効果ガス 実排出量総計				0	
温室効果ガス みなし排出量		-		0	
目標設定の考え方	CO2排出量年1.0.%の削減 (電気は中国電力(株)の実排出係数を使用)				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2				#VALUE!			
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
フロン類				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	月当たり60kwh削減	射出成型機ヒーターの稼働時間短縮
2	蛍光灯をインバータータイプと交換	月当たり15kwh削減	蛍光灯FHFタイプに10台交換 HF32Wタイプ
3	蛍光灯をLEDタイプと交換	月当たり24kwh削減	蛍光灯LEDタイプに10台交換
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

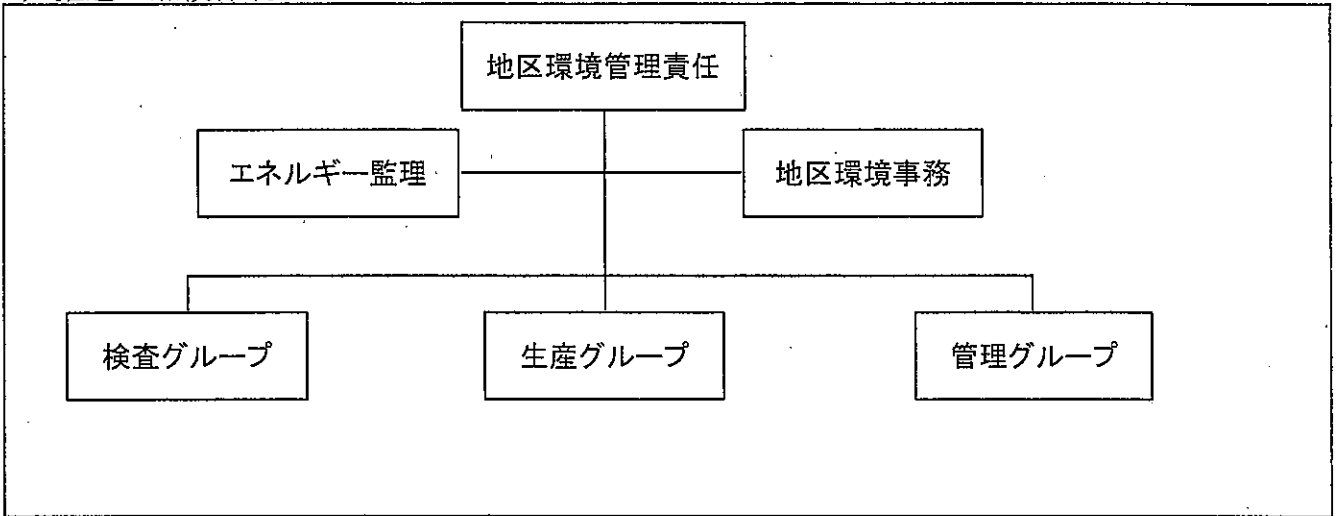
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	太陽光発電	年間発電量予測 89,410kwh	太陽光発電設備の導入
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

ISO14001の環境目的目標の実施項目として取り上げ、月毎のCo2排出量をフォローする。毎月の環境委員会にて目標に対して実績の進捗確認を行い、Co2排出抑制に向けた取り組みを評価・検証する。

(3) 計画書等の公表

事業所への備え付けによる閲覧